

オリーブ果実収穫の省力機械化に関する研究(第 1 報)

三木隼人・笠井宣弘³⁾

農業機械化研究所で開発された小型振動収穫機のオリーブに対する能力および振動収穫に及ぼす採果剤(離層形成剤)の併用効果について、1969~'70 年に実施した試験結果は次のとおりであった。

1. 小型振動収穫機の収穫能力

塩蔵用緑果に対しては収穫能力は弱小であって、本機単独では実用性に乏しかった。油用熟果に対しても、Lucca 種のように落果しやすい品種では省力的収穫に使用が可能であるが、他品種では直ちに実用化は困難である。

2. 採果剤との併用効果

(1)Ethrel,SV-OO,H.Q,M.A4 種類の薬剤のうち,Ethrel,SV-OO が収穫率向上に有効であった。

(2)Ethrel は 1000~2000ppm の濃度で顕著な効果があったが、葉害もまた甚だしかった。250~500ppm でもかなり収穫率を向上させたが、葉害の発生もみられた。葉害の回避によっては実用の可能性がある。

(3)SV-OO は 5~10%の濃度できわめて顕著な採果効果がみられたが、落葉も 100%に近く激甚な葉害がみられた。1%以下の濃度では採果効果が劣り、葉害も著しかったので実用性に疑問がある。

(4)高木性品種の現在の樹形では,Ethrel を散布しても 60%程度の収穫率であって、能率も悪く、採集器の開発改良とともに、機械収穫に適する樹形、枝の形状に改造する必要があることが判明した。